

【研究課題名】 869 当院における院内心肺停止の現状についての検討

【実施責任者】 集中治療部 助教 野村 泰充

【実施分担者】 麻酔科学教室 病院教授 安宅 一晃
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦
中央手術部 学内講師 田中 優
集中治療部 准教授 井上 聡己

【研究の意義】

心肺停止は患者の予後に重大な影響を与える。当院内においても入院患者及び外来患者で心肺停止をきたし、心肺蘇生術を施行された患者が存在するが、患者数や心肺停止にいたった原因、心肺停止時の状況、心肺蘇生術を施行した後の転機を詳細に調べる事はあまりない。今回当院における心肺停止患者について調べることにより、今後の心肺停止患者に対して有用な情報を得られるかもしれない。

【研究の目的】

当院における心肺停止患者に対する心肺蘇生術の結果を後ろ向きに調査し、状況と問題点を検討する。

【研究の方法】

研究デザイン：後ろ向き観察研究

研究対象者：平成20年1月1日から平成26年4月30日に、奈良県立医科大学附属病院内で心肺停止に至り、心肺蘇生術を施行された患者

データ収集とその解析法：当院内で心肺停止をきたし心肺蘇生術を施行された患者のカルテより発生場所、発生時間、コードブルー要請の有無、心肺停止の発症原因、心肺蘇生処置時のアドレナリン投与の有無、胸骨圧迫施行の有無、除細動の有無、心肺停止時の心電図波形、気管挿管の有無、ICU入室の有無、ICU入室後の転帰、退院時の状態、心肺停止前の異常なバイタル有無問うのデータを抽出する。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人情報について患者情報を外部ネットワークから遮断されたコンピューターで入力管理する。各症例で統計整理番号を割り付けし、統計学的処理は、患者ID、氏名、生年月日を削除し別ファイルを作成したうえで、連結可能匿名化情報として、別のコンピューターにておこなう。また、診療情報を電子カルテから直接ダウンロードすることはしない。電子カルテから得た診療情報は外部ネットワークから遮断された外部に持ち出さないコンピューターに直接入力し、その情報は連結可能匿名化情報として、外部に持ち出さないコンピューターにて入力管理をおこなう。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 野村 泰充

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051